

進路だより

福島県立あぶくま支援学校
進路指導部通信 第4号
令和5年3月10日 発行

ご卒業おめでとうございます

進路指導主事 若松伸司

小学部、中学部、高等部を卒業する児童・生徒の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響の中にもいろいろな体験をし、一回り大きくなり卒業を迎えたことと思います。小学部、中学部を卒業する皆さんは次のステップに進み、新しい勉強や生活が始まります。今までの環境と変わり壁にぶつかったりすることがあるかもしれませんが。しかし皆さんの周りには応援して下さる方々がたくさんいます。一日も早く新しい環境で新生活を楽しめるよう頑張ってください。高等部を卒業する皆さんは新しい世界への旅立ちです。今まで校内外で学習したことを糧にして頑張ってください。新たな出会いや社会人として生活を楽しみながらこれからの人生を歩んでいってください。

卒業生の皆さんのこれからの活躍を期待しています。

◇令和4年度の進路状況（3/10現在）

〈高等部〉

（順不同、敬称省略）

種別	進路先
企業	株式会社ヨークベニマル大槻店・白和田店、第一貨物株式会社郡山支店、コスモメディカルサポート ショートステイひかり、ウエルシア郡山長者店、一般財団法人 太田総合病院、サントリービバレッジソリューション株式会社東北支社 郡山第一支店、株式会社ななみ、アズビル金門エナジープロダクツ株式会社 白沢工場、スターゼンミートプロセッサ株式会社 郡山工場、ライフデリ郡山店、ケイヨーデイツー安積店、株式会社エービーシー・マートイオンタウン須賀川店、株式会社ライフサポート・エガワ東北 福島支店、保十谷テクノサービス株式会社、株式会社薬王堂 本宮高木店、ヨークベニマル第3ファクトリー
就労継続支援A型	東日本ケアサービス大玉、BIG HELLO
就労継続支援B型	ワークコスモス、にんじん舎、菊の里 工房はっち、クラッジョ、みんなのまーち、福島あすなる会、まこと、ワークトレセン広仁・明珠、みどり工房、アクセスホームさくら、えんどう豆（南相馬市）、
就労移行支援事業所	ウエルビー郡山駅前センター
生活訓練	からふる、並木あじさい館、にんじん舎トレーニングセンター、カレッジ郡山、栗田ソーシャルワークセンターアグリット
生活介護	にんじん倶楽部、RERAたいよう、愛（めぐ）、郡山市更生園、自立サポートこんべいとう、ピッコラ、からふる+、ピース∞、地域生活サポートセンター パッソ、ファミリー生活介護サービス郡山、夕陽の庭、通所事業所南東北さくら館
日中サービス支援型 共同生活援助	南東北ライフステップ八山田
その他	在宅

※網掛けについては3/10現在、応募中・結果待ちのもの

〈中学部〉

種別	進路先
進学	特別支援学校高等部（予定）

「夢のステージ、中学部へ！」

小学部6年生では、儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方を身につけたり、集団の場において自分の役割を意識しながら行動したり、新しい生活に希望や意欲をもって臨もうとする態度を養ったりすることをねらい、「卒業」についての学習を進めてきました。小学部での学習を振り返る中で、委員会やクラブで下級生の手本となり活躍してきたことを思い出して達成感を味わうことができました。中学部へ向けて、子どもたちは期待に胸を膨らませています。



「今年度作業学習で身についた力について」

中学部では、作業学習や校内実習をとおして、働くための基本的な事柄を学習しており、木工班・工芸班・家庭班・紙工班・基礎作業班で取り組んでいます。今年度特に成長が見られたことについて各作業班に調査したところ、「身支度を整えること」や「作業への意欲」について成長が見られたことが分かりました。また、次年度は「報告・連絡・相談」を自分から行う力をさらに高めたいと考える班が多かったです。働くための基本的な姿勢や態度をさらに育てることができるよう、今後も取り組んで参ります。



1 今年度特に成長が見られたところ

評価項目	回答数
1 (身支度) 身支度を整えて作業に取り組むことができました。	5
2 (作業効率) 手際よく作業を進めることができました。	3
3 (持続性) 一定時間很気よく作業ができました。	4
4 (丁寧さ) 分担された作業に丁寧に取り組みました。	3
5 (約束) きまりや時間を守って行動できました。	1
6 (意欲) 作業に意欲的に取り組むことができました。	5
7 (報告) 作業終了や支援依頼について、教師に伝えられた。	2
8 (行動) 望ましい態度で活動に参加することができました。	2
9 (挨拶・返事) 挨拶や返事が相手に伝わるようになりました。	2
10 (言葉づかい) 丁寧な言葉づかいで話げができました。	2
11 (準備・片付け) 作業の準備や片付け、清掃に遅れなく取り組めました。	3
12 (安全) 安全に留意して作業を進めることができました。	3
13 (その他) 上記項目の他に成長が見られたところ ○友達との関わりや協力について、成長が見られた。	

2 次年度、身に付けたい力

- 作業の丁寧さ
- 報告・連絡・相談 (4)
- 仕事の楽しさを理解する
- 技術面の向上
- 衛生面・衛生管理
- 約束を守る
- 分担と協力 (2)
- 望ましい態度で作業に臨む
- 疲れたときや休みたいときの伝え方を身に付ける

高等部 職業ガイダンス

1月に高等部1・2学年の企業就労を希望する保護者と生徒を対象に「職業ガイダンス」を実施しました。17日(金)は、保護者を対象にハローワーク郡山の職業指導官の菊地様と就労支援コーディネーターの佐々木様に、「～子供たちの未来のために～」と題して、卒業後の進路や障がい者雇用の現状、企業で働くために必要な力など、就職に向けて家庭で準備しておきたいことを中心に講話して頂きました。参加した保護者からも質問が寄せられ、就職活動の前に療育手帳の更新を確認すること等、備えておきたいことについて丁寧に説明していただきました。また、20日(金)には生徒を対象に地域生活支援センターふっとわーくの就労生活支援ワーカーの松野様に、「障がい者就業・生活支援センターと卒業後の生活について」と題して、ふっとわーくについての説明や相談支援事業所の役割、卒業生の悩みや在学中に身に付けて欲しいことについて講話いただきました。企業就労を考える生徒たちも真剣に説明を聞く様子があり、生徒たちにとっても、この職業ガイダンスは高校部3年間の生活の中で、卒業後になりたい自分の姿や進路について考える良い機会となりました。



移行支援会議について

卒業後の進路が決定した生徒について、学校や家庭での生活の様子、これまでの実習における成長や課題、必要な配慮事項や支援の手立てなどの情報を、進路先に引き継ぐことを目的として行われるものです。会議には、本人、保護者、進路先の担当者、担任、進路指導担当教員のほか、福祉サービス事業所を利用する場合はサービス利用計画に携わる相談支援専門員も参加します。その際に、申請の状況や手続きにおける進捗状況についても確認します。

学校から社会生活へ移行するにあたって、これからの生活で共有したい情報を確認し、卒業後の安定した支援につなげていく重要な会議となっています。

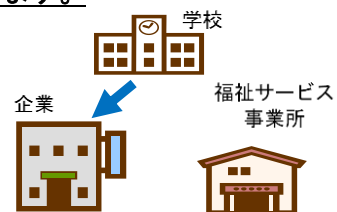
卒業後のアフターケア

本校では、卒業後の2年間、産業現場等における実習期間中や夏季休業中、および必要に応じて卒業生追指導(アフターケア)を行っています。進路決定はゴールではなく、新しい生活のスタートです。新しい生活環境に適応できるように、企業や福祉サービス事業所の担当者や連絡を取り合いながら、卒業時の担任や進路担当等が現場に伺います。

その際、卒業生には現在の生活や後輩へのアドバイスなどに関するインタビューを実施し、卒業生の写真とともに報告書として校内に掲示しています。在校生に先輩の頑張っている様子を伝えるとともに、卒業後の生活や進路実現に向けた自分の目標を具体的にするための重要な役割も担っています。



学校から、企業や福祉サービス事業所へ訪問します。



- 卒業後1年目は、新しい環境への適応を中心に、アフターケアを行います。
- 20歳を迎える年には、障害基礎年金の手続き状況を確認しています。